

全国後期高齢者医療広域連合協議会 令和元年度広域連合長会議 会議要旨

日時：令和元年6月12日（水）15：00～16：00

場所：都市センターホテル 5階「オリオン」

(15：00 開会)

1 開会

2 会長挨拶及び情勢報告

○ 政府が掲げている、人生百年時代を目指すにあたって、後期高齢者医療制度は重要な役割である。そのためには、連合長の指示のもと、事務局長が要となり、安定した運営を行う必要がある。また、要望活動を通して現場の声を届けることで、高齢者がよりよい人生を送っていただくことが重要だと認識している。皆様の今後より一層のお力添えをお願いする。時間に限りはあるが、厚労省との意見交換の場を設けているので、活発な議論をお願いしたい。

○ 情勢報告：「後期高齢者医療の情勢について」、資料にて説明

3 議事

(1) 平成30年度全国後期高齢者医療広域連合協議会事業報告

・質疑なし、承認

(2) 平成30年度全国後期高齢者医療広域連合協議会決算

・質疑なし、承認

(3) 令和元年度全国後期高齢者医療広域連合協議会事業計画（案）

・質疑なし、原案のとおり承認

(4) 令和元年度全国後期高齢者医療広域連合協議会予算（案）

・質疑なし、原案のとおり承認

(5) 役員の選任

・質疑なし、原案のとおり承認

(6) 要望書（案）について

【 質 疑 】

質 疑①	事務局に対して、日々の活動に感謝を申し上げる。要望自体には、異論はないが、要望1とそれ以外のことについては分けるべきだと考えている。47都道府県がしっかりと意識をし、それぞれの県の国会議員へ陳情すべきである。そういった手法を取らなければ、進んでいかないことだと思っている。 (黒田広域連合長：岡山県)
質 疑②	広域連合と国保の代表でもあるので、現役世代への配慮が必要だと考える。現状維持ということは、時代の流れとしてミスリードである。現状維持について、要望するということは、一人の政治家として賛成しかねる。 (柴橋広域連合長：岐阜県)

回 答	<p>① 持続可能性を考えて、時には必要な行動をとるべきではないか、また各県の国会議員に対し、働きかけるべきという意見についてはとても大切なことなので、タイミングを見て、働きかけをお願いしたいと思っている。</p> <p>② 窓口負担の増については、慎重な議論が必要である。</p> <p style="text-align: right;">(横尾全国協議会会長)</p>
-----	---

・原案のとおり承認 ※岐阜広域連合長は賛同していないが、今回の要望について全体の総意ということで、承認を得る。

4 来賓紹介及び挨拶

・紹介：大口厚生労働副大臣、樽見保険局長、込山高齢者医療課長

・挨拶：大口厚生労働副大臣

- 制度については、10年が経過し、安定運営していること、各広域連合のご尽力のおかげであり、感謝を申し上げたい。
- 高齢者の保健事業と介護予防の一体化に向け、制度改正が行われた。高齢者の特性に応じた、より身近に取り組むことができる枠組みである。広域連合と市町村が協力し、地域に根付いた保健事業ができるよう、お願いしたい。
- また特別調整交付金を活かし、専門職を雇用等、できる限りの支援を行っていききたい。
- 今後も、高齢者医療制度の発展のため、広域連合の方々と力を合わせ、制度の安定化を進めていきたい。

5 要望書手交

・横尾会長から大口厚生労働副大臣へ手交

6 厚生労働省と意見交換

【 質 疑 ① 】

質 疑	<p>高齢化の進展に伴う被保険者数の増加や制度改正により、広域連合の業務量は年々増加しているのので、職員の増員を行いたい、市町村からの派遣職員の増加は困難な状況である。</p> <p>広域連合が保健師等を雇用した場合には国からの補助があるが、事務員に対しての補助はない。そこで、広域連合が独自に雇用する職員の人件費に対し、財政上の措置等、国の支援をお願いしたい。</p> <p style="text-align: right;">(北村広域連合長：静岡県)</p>
質 疑	<p>北村広域連合長の質問に関連していることであるが、持続可能な運営体制でありたいと思っている。いつ制度が終わるかわからないということもあり、職員の補充等ができていないという実態がある。</p> <p style="text-align: right;">(黒田広域連合長：岡山県)</p>
回 答	<p>現段階では、後期高齢者医療広域連合に引き続き保険制度を担っていただくのが適当であると思っている。制度の方向性については、今すぐお示しすることは難しいという現状である。</p> <p>派遣職員の費用負担については、市町村の地方財政措置の中で支援されているので、厚生労働省としては、総務省に対して支援の拡充をお願いしたいと思っている。</p> <p style="text-align: right;">(大口厚生労働副大臣)</p>

【 質 疑 ② 】

<p>質 疑</p>	<p>先ほど採択した要望書の中で、一人だけ意見が違い、そういった考えもあるということを大臣にはお伝えしたいと思ひ発言している。</p> <p>窓口負担のあり方について、現状維持と要望しているが、社会保険料で取られると現役世代は、景気回復を実感できない。団塊の世代が75歳になる前に、本則に戻していただきたいと考えている。（柴橋広域連合長：岐阜県）</p>
<p>回 答</p>	<p>骨太の方針にも記載があるが、検討するにあたり、世代間のバランスや制度の継続した運営なども考慮し、丁寧に検討していきたい。</p> <p style="text-align: right;">（大口厚生労働副大臣）</p>

【 質 疑 ③ 】

<p>質 疑</p>	<p>高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施を令和2年度から本格実施できるようにするためには、指針・ガイドライン等をできる限り早期に示していただく必要がある。</p> <p style="text-align: right;">（横尾広域連合長：佐賀県）</p>
<p>回 答</p>	<p>各広域連合や市町村に、速やかに取り組んでいただく必要があり、医療専門職等の市町村へ配置できるよう特別調整交付金を活用した支援をしたいと思っている。</p> <p>事業メニューのポイントなどを整理したガイドラインの提示や国保連合会による研修等を行い、システムの操作や活用を支援していく所存である。</p> <p style="text-align: right;">（大口厚生労働副大臣）</p>

7 閉会（16：00 会議終了）